

科目	古典探究	単位数	2	週時間数	2	年次・コース・組	2年 一般コース 1～4組
使用教材	『探求 古典探究 古文編』『探求 古典探究 漢文編』 漢和辞典「体系古典文法 九訂版」「漢文必携」 「新国語便覧」「予習復習ノート」「古文単語315」						
目 標	(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。						

身につけてもらいたい力

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価基準 ↑ ステップ3 ステップ2 ステップ1	・本文に用いられている語句の意味や用法について、辞書や参考文献を積極的に参照しながら理解している。 ・本文を読むために必要な文語のきまりについて理解を深め、その知識を活用している	・説話や物語、和歌といった文章の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えている。 ・内容の解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしたうえで、それを的確にまとめている。	・学習した古文や漢文についての文化のあり方について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。
	・本文に用いられている語句の意味や用法を正しく理解している。 ・本文を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。	・説話や物語、和歌といった種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・内容の解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている	・学習した古文や漢文についての文化のあり方について話し合い、自分の考えを深めようとしている
	・本文に用いられている語句の意味や用法について十分に理解していない。 ・本文を読むために必要な文語のきまりについて十分に理解していない。	・本文の構成や展開などを十分に捉えていない。 ・説話や物語、和歌についての自分の考えを十分に表していない。	・学習した古文や漢文についての文化のあり方について、自分の考えを話したり、相手の考えを聞いたりしようとしていない。
評価方法	定期試験、授業時の観察、漢文音読課題テスト、小テスト	定期試験、授業時の観察課題テスト、小テスト	授業に取り組む姿勢や意欲 授業時の内容をまとめたノート 漢文音読課題等の取り組み

※この評価基準(目標)により評価しますが、各単元の目標や難易度によって達成度が変わってきます。

それらを考慮しながらA、B、Cの評価をし、またそれを基に5段階の評価がつきます。

授業の形態、方法

一斉授業の他に、個人・集団での発表、話し合いなどを行います。自分の考えを持ち、ほかの生徒と積極的に話し合いを行ってください。また、「漢文音読」を適宜行います。こちらも評価に入りますので、指定された時期に行ってください。

担当者より

・古典は「予習」が勝負です。自分で分かったところと分からないところを「分ける」ことが「予習＝学習」です。自分の身になるように学習してください。
・「ノート」は自分や仲間、クラスの思考の過程を記録する大切な道具です。板書を書き写すだけでは意味がありません。先生や仲間の発言や気づきで大切だと思ったことを記録したり、自分が知らなかった言葉の意味をまとめたりして、自分だけのノートを作っていきましょう。それによって、ノートの評価点をつけていきます。

学習計画

月	単 元 名	予定時数	学 習 の 内 容 と ね ら い	実施時数
4	ガイダンス	1	・今年度の授業の流れ、評価のポイントの確認。また、ノートの取り方を確認する。	
	漢文：唐詩の世界「春暁・江雪・黄鶴楼・元二・春望」 * 昨年度『言語文化』の教科書を使用	5	・さまざまなスタイルの漢詩を読んで、それぞれの詩に表現された心情や情景を的確に捉える。	
5	古文：宇治拾遺物語「歌を読みて罪を許さること」	5	・比較的平易な説話を読んで、話のおもしろさを理解する。また、話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心理を捉える。	
	＜前期中間試験Ⅰ＞	1	漢文音読①	
6	古文：方丈記「行く川の流れ」 徒然草「家居のつきつきしく」 ※3段落まで	6	・随筆を読んで、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。また、文章に描かれている観念性・抽象性の高い内容を、構成や展開に即して的確に捉える。	
	＜前期中間試験Ⅱ＞	1	漢文音読②	
7・8	古文：敬語の学習 古文：枕草子「中納言参り給ひて」 「雪のいと高う降りたるを」 ※夏季特別時間割	5 (5)	・随筆を読んで、自然、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。また、「枕草子」の随想的章段・類聚的章段・日記的章段におけるそれぞれの特色を理解する。 漢文音読③	
	漢文：故事・寓話 「画堂点晴」 「漱石枕流」	4	・比較的短い文章を読んで話の内容を理解することにより、漢文を読む楽しみを味わう。また、故事や寓話に込められた古代中国人のものの見方・考え方について理解する。	
9	漢文：故事・寓話「先從隋始」	4	漢文音読④	
	＜前期期末試験Ⅱ＞	1		
10	古文：大鏡「花山院の出家」 古文：源氏物語「光源氏の誕	8	・歴史物語を読んで、登場人物の行動や心理を、話の展開に即して読み取る。 ・敬語を復習し、人物関係を押さえる。	
11	古文：源氏物語「光源氏の誕生」	4	・長編物語を読んで、登場人物の行動や心情を的確に読み取る。また、「源氏物語」の内容や構成に関心を持ち、平安時代の物語文学への理解を深める。	
	＜前期中間試験＞	1	漢文音読⑤	
12	漢文：史伝Ⅱ「鴻門の会」	6	・歴史物語を読んで、当時の人物の考え方に触れ、興味・関心を持つ。	
	※冬期特別時間割	(5)	漢文音読⑥	
1	古文：源氏物語「光源氏と藤壺」	4	・長編物語を読んで、登場人物の行動や心情を的確に読み取る。また、「源氏物語」の内容や構成に関心を持ち、平安時代の物語文学への理解を深める。	
2・3	古文：源氏物語「光源氏と藤壺」	6		
	＜後期期末試験＞ ※春期講習	1	漢文音読⑦	
合計時数		57		0